

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
会長 戸井田 愛子
〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-2
電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
編集 「身障かながわ」編集委員会
編集委員長 新井 修身
印刷 有限会社 横浜総合印刷

- 平成29年度事業報告・収支決算 ..... ①
□ 神奈川県障がい福祉計画 ..... ②
□ 藤沢市障がい者防災講演会(藤沢市) ..... ③
□ 開成町身障協会の活動(開成町) ..... ③
□ 県身連肢体部・社会見学のご案内 ..... ④
□ さんぼみち(厚木市) ..... ⑤
□ みんなの広場(小田原市) ..... ⑤
□ 私に明日をくれた卓球 ..... ⑥
□ 県身連事業予定(7月~10月) ..... ⑥
□ 編集室から ..... ⑥

平成二十九年 事業報告・収支予算

県身連の平成二十九年 度事業報告と収支決算が、五月の理事会・評議員会で原案どおり全会一致で承認されました。

平成二十九年 度の各事業の実施に当たっては、各地域団体との緊密な連携を図るとともに、県・市町村など関係機関の協力を得ながら着実な執行に努めた。

団体の自主事業としては、日本身体障害者福祉大会(岐阜県)や、関東ブロック協議会代表者会議(埼玉県・千葉県)への参加、日本身体障害者団体連合会と連携し、情報の収集や要望活動を行い、情報の提供に努めた。なお、津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件を忘れずに、この事件後に制定されたともに生きる社会かながわ憲章の精神をもって、障害者差別解消法の講演会や講習会を開催し、障害に対する理解と認識を高めるための啓発を行った。

県補助事業については、身体障害者福祉大会等を開催し、安心して生活できる福祉社会の実現に向けて、身体障害者相互の連携を深め、着実な推進を図った。

平成29年度神奈川県身体障害者連合会事業決算 (単位:円)

Table with 4 columns: No., 事業科目, 決算額, 予算との増減. Rows include 管理費, 人件費, 会議費, 負担金, 雑費, 管理諸費, 地域団体組織強化費, 広報活動費, 身体障害者福祉推進活動費, 部会活動費, 日身連大会参加費, 相談事業費, 体育振興費, 福祉大会費, 社会参加推進センター事業運営費, 神奈川県障害者スポーツ振興事業費, 音声機能障害者発声訓練事業費, 県障害者スポーツ大会開催費, 全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費, 県障害者スポーツ振興協会事務委託費, 県精神障害者スポーツ大会開催事業, 県障害者スポーツサポーター養成事業, and a total row.

役員改選

役員(理事) 任期満了に伴う役員改選が行われ、次のとおり新役員(理事)が選任されました。任期は、本年五月三十一日から平成三十五年五月開催予定の評議員会

- 会長 戸井田愛子
副会長 小出庄作、鈴木孝幸、渡邊千城
常務理事 渋谷寿人
理事 鈴木英雄、西川和朗、相原貞雄、遠藤伸一、中山孝彦、小玉かおる

- 監事 河原雅浩、村山 勲、開沼クミ子、今福秀雄

終結までの二年間です。



# 神奈川県障がい福祉計画

## (第 5 期 平成 30 年度～ 32 年度)

神奈川県障がい福祉計画 (第 5 期 平成 30 年度～ 32 年度) が策定されました。  
※内容を抜粋して掲載します※

### 【 目 的 】

この計画は、平成 26 年 3 月に障害者基本法 (昭和 45 年法律第 84 号) 第 11 条第 2 項の規定に基づき策定した「かながわ障害者計画」の理念や考え方を、障害者総合支援法に基づくサービス実施計画として具体化することにより、誰もが安心して豊かに暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とします。

### 【県が実施する地域生活支援事業に関する考え方】

#### ア「かながわ障害者計画」の理念の具体化

県は、地域生活支援事業の柔軟性を生かしながら、「ひとりひとりを大切にする」ことを基本理念として、障がい者の自立及び社会参加を推進するため、障がい者の活動を制限し、社会への参加を制約している社会的障壁を除去するために、県が取り組むべき施策の基本的な方向を定め、障がい者等の地域生活を支援する事業を展開していきます。

#### イ 施策推進の方向

##### (ア)「生きにくさ・暮らしにくさ」に着目したサービスの提供

事業の性質上利用者が限定されるものを除き、基本的には、障がい者等が「どの障がい種別に該当するか」ではなく、その人が日常生活で直面している「生きにくさ・暮らしにくさ」という点から「必要な人に必要なサービス」を提供していきます。

##### (イ) 発達障がいや高次脳機能障がいへの対応

発達障がい者や高次脳機能障がいについては、「生きにくさ・暮らしにくさ」に対応した福祉サービスを利用できるよう、広域的、専門的な立場から支援します。

##### (ウ) 市町村と県の重層的な支援体制の構築

本県独自の取組みとして、障がい保健福祉県域レベルでの支援を強化することにより、市町村、障がい保健福祉県域、県全体という、市町村と県の連携による重層的な支援体制を構築していきます。

#### ウ 市町村の地域生活支援事業との役割分担

市町村の地域生活支援事業の実施に関する事項は、各市町村の障がい福祉計画に定められますが、障がい者等の地域生活についての一般的な支援は市町村が行い、県は専門的、広域的な支援や人材育成などを主な役割とします。なお、地域生活支援事業については、原則として大都市特例の適用がありませんが、従来、政令市が実施してきた事業のうち、事業の継続性などから、引き続き政令市が実施した方が適切と思われる事業については、事業の実施を委託することにより円滑な実施を図ります。

【下記 URL から障がい福祉計画が閲覧できます】

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/keikaku/syougaihusikeikaku.html>





### 藤沢市障がい者防災講演会

藤沢市 種田 多化子

藤沢市の障がい当事者団体と家族の会は共に藤沢市福祉団体連絡会として活動しています。平成三十年二月二十七日に「藤沢市障がい者防災講演会」を開催し、一八八名が参加しました。ワークショップ形式で避難所運営ゲーム「HUG」を体験しました。これは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者それぞれがかかえる事情が書かれたカードを避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか避難所で起こる様々な出来事にどう対処して行くかを考えるゲームです。当日は一グループ十人ほどの地域別の十グループで短時間のうちに多くの情報を処理するという過酷な状況下において災害時を模擬体験しました。どの

### 市町村のページ

グループにも障がい者や障がいのある子を持つ親が参加していましたが、進行でHUGの説明のなか、自己紹介をする時間がなかったの



で、コミュニケーションが難しい視覚障がい者や聴覚障がい者の方がゲームの進行から取り残されてしまいました。座っている状態では目で見えない肢体障がい者もいます。実際の災害時には私たち障がい者は声を出さないと解ってもらえないことを体験しました。知的障がい者や精神障がい者の方は自らの意思を言葉で伝えることは難しいです。参加された親の方は、顔を知ってもらい、どんな支援が必要なのか知ってもらうことが大切だと痛感されていました。健常者の方からは障がい者に出てきてもらいたい、障がい者にとって対応したらいいか解らない、障がい者だと解る表示をしてほしい等の意見がありました。障がい者の方からは理解してほしいと思う、個人で通訳者・誘導者を頼まなくてはいけない、障がい者に対する理解がなく後回しにされた等の意見がありました。障がい者への理

解が少し深まったように思います。引き続き体験型の講演会を開催して、意見交換をして障がい者への理解・啓発を深めていきます。

### 開成町身障協会の活動

開成町 遠藤 伸一

開成町身体障害者福祉協会は、現在二十七名の会員で活動しています。一番楽しみにしているのは、神奈川県福祉バス《ともしび号》でのバス旅行です。毎年六月利用をめざして抽選に挑戦して三年続けて当選してバス旅行を楽しんでいます。一年目はスカイツリー&羽田空港、二年目は館山&東京ド



リフトバス

は町社協の中型マイクロバス(リフト付き)を社協の職員が運転してくれて出掛けています。年度始めの年度総会や会議の資料作成など全面的な支援をいただいております。夏休みに社協主催で開催される「親子ふくし一日教室」の中の一つのコーナー「当事者とお話しましょう」を当協会自ら開設して障害のある方の生活を紹介しています。

昨年十一月に開催された開成町主催事業「パラリンピック公式種目にトライ」かながわパラスポーツ体験会」には会員六名が参加して「ボッチャ」という東京パラリンピック公式種目の競技を体験しました。初心者でも車椅子でも楽しめるスポーツでした。

開成町は南部地区の開発が進んでおり、人口が増加とともに商業施設も増えていきます。多目的トイレを備えた薬局やコンビニもあり、地形も平坦で、無料の町内巡回バスもきめ細かく運行されており、障害者にとっても住みやすい街です。

当協会の活動は、地元の開成町社会福祉協議会が事務局となり支援してくれています。春の研修事業や神奈川県身体障害者福祉大会



～県身連肢体部・社会見学のご案内～

# 「秋の福島と奥羽三楽郷の一つ 東山温泉の旅」

◆期 日 平成 30 年 10 月 1 日 (月) ～ 10 月 2 日 (火)



◆コース

1 日 目	各地 7:30～8:30 → 狭山 PA・大谷 PA (休) → 圏央道・東北道 → 名物 宇都宮餃子 (昼食) 11:30～12:30 → 塔のへつり (展望台より見学・きのこ汁の試食) 14:20～8:30 → 大内宿 (見学) 15:20～16:00 → 東山温泉 17:00
2 日 目	東山温泉 9:00 → 鶴ヶ城 (天守閣を眺めつつ、茶室の見学) 9:20～10:45 → 飯盛山の下で剣舞鑑賞 11:00～11:45 → 会津武家屋敷 四季のわっぱめし (昼食) 12:00～13:00 → 柏屋 (名物 薄皮まんじゅうの買物) 13:15～13:45 → 猪苗代湖 (車窓見学) → 磐越道・東北道・圏央道 → 各地下車 18:30～19:30 頃

◆旅行代金 ￥26,000-

注) 募集人員 39 名 (参加申込者が 34 名以下の場合は中止)

費用に含まれるもの…バス代・有料道路代・宿泊代・添乗員費用・コース中の件学費・旅行傷害保険・宴会時のカラオケ・お酒又はジュース類おひとり様一本

◆宿泊施設名 東山温泉 東山グランドホテル Tel 0242-27-3500

福島県会津若松市東山町大字湯本上湯本 5

- 客室について ・和洋室 (定員 5 名) ・和室 3 部屋  
 ・部屋のトイレ・洗面所はユニット式の為段差が 15cm ほどございます。
- 貸切の家族風呂はありません。 ○食事会場はテーブル席です。
- ホテル館内のトイレにはスロープが付いております。
- 大浴場について ・入口に 5cm 程度の段差があり、脱衣所から洗い場までは 10cm 程度の段差があります。

◆申込方法

8 月 20 日 (月) より FAX・郵送にて受付ます。各団体毎に参加者を取りまとめ申込書に記入の上、8 月末日迄に県身連事務局までお申し込みください。

※申込書は各市町村身障団体長宛にお送りしておりますので、参加を希望される方は所属されている身障団体へお問合せ下さい。

○申込受付開始日…………… 8 月 20 日 (月)

○参加申込メ切…………… 8 月末日 ※但し 20 日以降、定員になり次第メ切ります。

○参加費入金メ切…………… 9 月 14 日 (金) ※入金メ切後は、規定のキャンセル料が発生します。



さんぽみち

### 厚木市の魅力

厚木市 開沼 かいぬま クミ子 こ

私たちの住んでいる厚木市でも、今年は寒暖差があり、例年より早く桜の花が咲きました。テレビでも各地の桜情報がニュースで流れました。厚木飯山の桜まつりは三月三十一日～四月八日までです。私達も友達と三人で桜のお花見に出かけました。飯山は桜まつりがあり奥には入れないので、車の車窓から眺めました。まわりの桜もピンク色に染まりとてもきれいでした。厚木飯山さくらまつりでは飯山白龍太鼓や白龍の舞、さくら神輿など、飯山の伝統芸能が楽しめます。



厚木市三川合流の桜の花のトンネルに向かって車で移動してきました。車を止めて公園を歩きました。満開の桜の下、普段の日でしたが、春休みと重なったこともあって、桜の木の下でシートを敷き、お弁当や飲み物などを飲みながら家族を連れて楽しんでる人達が沢山来ていました。私達も桜の花にふれながら桜の花の香りに酔いしました。

五月二十七日には相模川の河川敷を各団体の協力で清掃しました。六月一日から鮎の解禁が始まります。八月には厚木鮎まつり花火大会・鮎のつかみどりなどがあります。これから様々なイベントが盛沢山あります。どうぞ厚木に来て下さいね。お待ちしております。



みんなの広場

### 障害者スポーツとの出会い

小田原市 甘粕 あまかす 明 あきら

今から四十八年前、オートバイで追突事故を起こし障害者となりました。ある日、知人からの誘いで肢体障害者福祉協会に入会しました。その後、県身連が運営するスポーツ大会に参加するようになり気持ちもポジティブになり、スポーツを通じて色々な仲間とお互いに相談に乗りコミニケーションが取れました。昨年、第十七回全国障害者スポーツ大会(十月二十八日～三十日)に選出されました。三日間の(厳しい?)強化練習を基礎から

コーチの皆様の指導によりソフトボール投・立幅跳と、記録も当初より徐々に伸び自信が出てきました。開会式は、台風の影響で雨の中非常に寒い思いをしました。次の日も台風の影響で午前の競技が幾つか出来ず、悔しい思いをした選手もいました。私もスニーカー底部が剥がれてソフトボール投に臨んだ結果『七位』と振るわず残念！二日目は新しい赤色スニーカーを購入し気合を入れて、銀メダルを獲得出来ました。大会では色々な出来事が在りボランティア団体さん、各役員さんに感謝しております。スポーツの出会いはその交流です。気持ちが落ち込んだりした時はスポーツの楽しさを体験して、皆さん、笑顔あふれる出会いを見つけましょう。



立幅跳  
記録 1m61cm (2位)  
区分「4」2部 (片下肢)



# 私に明日をくれた卓球

藤沢市 坂田学 さかた まなぶ

障害の原因となる病気を発症したのは今から十五年前、二十五歳の頃でした。星が見えないことに気づき受診したところ、両目とも失明する進行性の難病でした。診断後はシヨックで落ち込み心も荒れました。

やがて、見える内に何かに一生懸命取り組もうという気持ちになり、中学の部活で始め、高校で関東大会や全国大会に出場した卓球を選びました。当時の目標は、県予選を抜け全日本実業団選手権大会本戦の出場です。病気の進行で視野

が欠けていき、健常者選手から勝利することは難しいことでした。視野障害のハンデをカバーしてプレーする訓練に二年取り組み、七年後、全日本実業団選手権本戦出場を果たしました。

その後も病気は進行し、健常者を相手にプレーすることが難しくなり、障害者卓球に移行しました。二〇一七年には、全国障害者スポーツ大会の卓球部門で優勝することができました。皆が障害を工夫して補い、真剣に卓球に打ち込んでいました。障害の内容や程度は違えど、『抱えながら卓球をしている』という共

通ある人たちとプレーできる楽しさがありました。障害者卓球に取り組み中で多くの人と出会い、家族を始め多くの人に励まされました。そこには、『見えなくなった以上に見えるようになってきた』ものがありました。私は卓球に支えられ、前に進むことが出来ました。今後は地元の子どもたちに卓球の楽しさと素晴らしさを伝えていきたいと思えます。その子どもたちが大人になり、いつか昔を振り返り、そういうえば昔卓球を教えてくださいました。おじさんがいたなあという思い出の1つになることが今後の目標です。

## 編集室から

喜寿を迎えて思うこと。

この年まで大病もせず健康で過ごせたことにまず感謝したい。

過ぎし七十七年の間にはいろいろな出来事が在りました。私が生まれた一九四一年は第二次世界大戦勃発。日々の空襲と食糧難の中、

視覚障害を持つ乳飲み子を守り育ててくれた両親に対しても感謝したい。そして一九四五年敗戦。食糧難はますます酷くなり人々は食料を求め農村へ買い出しに出かける日々が続いた。そして一九四八年、私は盲学校へ入学した。小学部の頃はまだ日本は貧しかったが、私が中学部になった一九五五年あたりから生活も豊かになり食料も豊富に回るようになった。

一九六五年、あの東京オリンピックの明くる年、私は盲学校を卒業し鍼灸マッサージの資格を取り、自宅開業し現在も現役で頑張っています。

## 県身連事業予定

### <7月>

- 5日(木) 日身連関東ブロック団体長会 (茨城県)
- ~6日(金)
- 8日(日) 県障害者スポーツ大会 [水泳] (さがみはらグリーンプール)
- 12日(木) 身体障害者高尾山登山 (高尾山)
- 17日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉会館)
- 22日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (横須賀市不入斗公園ほか)
- 23日(月) 津久井やまゆり園事件追悼式 (相模女子大学グリーンホール)

### <8月>

- 11日(土) スポーツサポーター養成講習会 (川崎市幸スポーツセンター)
- ~12日(日)
- 18日(土) 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
- 26日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 ※屋内競技対象 (厚木市荻野運動公園)
- 26日(日) 視力部第1回団体長会議 (三浦市)
- 31日(金) 全国盲女性研修大会 (島根県)
- ~2日(日)

### <9月>

- 1日(土) 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
- 1日(土) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 ※屋外競技対象 (麻溝公園陸上競技場)
- 8日(土) スポーツサポーター養成講習会 (海老名運動公園総合体育館)
- ~9日(日)
- 14日(金) 精神障害者スポーツ大会 [卓球] (寒川総合体育館)
- 15日(土) 全国盲青年研修大会 (奈良県)
- ~17日(月)
- 22日(土) 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
- 23日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (横須賀市不入斗公園ほか)

### <10月>

- 1日(月) 肢体部社会見学 (福島県方面)
- ~2日(火)
- 13日(土) 第18回全国障害者スポーツ大会 (福井県)
- ~15日(月)
- 22日(月) 肢体部研修会 (伊豆潮風館)
- ~23日(火)
- 25日(木) 社会参加推進協議会 (県社会福祉会館)
- 27日(土) 肢体部歩こう会 (よこはまズーラシア)
- 27日(土) スポーツサポーター養成講習会 (神奈川県立スポーツ会館)
- ~28日(日)

※問い合わせ 電話：045-311-8736  
045-311-8744  
[推進センター]  
FAX：045-316-6860  
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

編集委員

新井 修身 あらい おさみ

(視力部)



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。